

## 筑波山と真壁のお雛様（2月定例山行）

日程：2019年2月17日（日） 日帰り

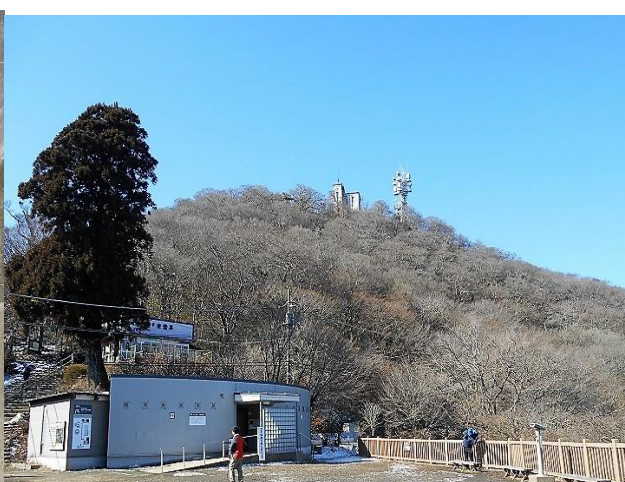
行く先：筑波山と真壁町のお雛様を見ながらの散策

行程：常磐道経由～筑波山北側登山口駐車（ユースホテル跡）～男体山頂～駐車地  
～真壁町散策～稲葉酒造～帰葉

メンバー：藺田（G/L）田中（S/L）八角 加藤 井上（志津子） 吉瀬 鶴田（記）



男体山頂にて



女体山を望む（登りませんでした）

高速をおりると青空に形のいい筑波山の姿が大きくなる。冬枯れではあるが山肌を覆う木々はほの白く芽吹きが間近いを感じさせる。うねうねと続く道をかなり上った駐車場に車を停める。昔ユースホテルがあった所とのこと。ここからの道は北側だからだろうか、少し雪が残っているが、滑らないように注意しながら登っていく。1時間ほどで男体山頂に到着。春霞でしょうか、遠くの山々は見えないが眼下の関東平野はほんとうに穏やか。日差しもいっぱい、いただくお弁当がおいしい。



車に戻って山を下り、真壁町へ。町へ入るとお雛様の案内が目につき、多くの駐車場が開放されていて、町全体が訪れる人を歓迎しているようだ。桜川市役所の駐車場に車を停めて散策開始。どの家も解放されていてお雛様を間近に見ることができる。江戸、明治、昭和、平成のお雛様を並べてくれているひな壇。部屋いっぱいの吊るし雛。見飽きることはありません。用事で家人が留守のお宅も道に面したガラス戸の近くにお雛様を飾ってくれている。町の方々の暖かさが伝わってくる。甘酒をいただいたり、町の有志が打ってくれたお蕎麦を（これがなかなかの味）食べたりした。

真壁町をあとにして、藺田さんの案内で筑波山神社近くの稲葉酒造という酒倉に寄り、日本でも珍しいという

女性杜氏の仕込んだ日本酒をめいめいお土産に買って帰途についた。変化にとんだ楽しい一日だった。菌田リーダー、同行のみなさんありがとうございました。(鶴田 記)



真壁町にて こんな屋台もありました



お蕎麦をいただく